



くんねっぴ健康まつり「健康講演会」を開催



開基120年記念事業の一環として、長野県諏訪中央病院名誉院長の鎌田貴さんをお招き、くんねっぴ健康まつりの健康講演会を11月5日に町公民館で開催しました。鎌田さんは、「健康つくり運動」を実践し、脳卒中死亡率の高かった長野県を長寿日本一へと発展させたことなどを話し、町内外から訪れた約300人が、健康への意識を高めました。

「訓子府を食へよう」と銘打ったこの授業は、訓子府産の農産物を調理することで、児童に農業や食の大切さを教えるとともに、「地産地消」を目的に毎年行われ、今年で11年目になります。児童は、米とぎやじゃがいもの皮むきなど役割分担し、調理。出来上がった豚汁を食へた児童は「訓子府の野菜で作った豚汁はおいしい」と笑顔満開でした。

訓子府を食へよう



料理小5年生が

水難事故や台風などによる大雨で河川が増水し、孤立した水難者救助に備え、町KAPPAプールで11月15日に、水難救助技術の向上と知識の習得を目的に、北見消防水難救助隊と消防署訓子府支署が合同訓練を実施しました。実践訓練では、川に流された人の探索と救助を想定したもので、水難救助隊が潜水し、要救助者を探索・発見。その報告を受けた消防署訓子府支署隊がゴムボートを活用し、要救助者を引き上げ、安全な場所に搬送し、救急隊へ引き継ぐなどの一連の手順を確認しました。

訓子府支署、水難救助訓練を行う



牧場からわが家へ 329頭が退牧

町共同利用模範牧場の一斉退牧が、10月28日に行われ、329頭が町内外の「わが家」に戻っていきまし。春に入牧し、5か月間、広い牧場でゆったりと過ごしてきました。なかなかトラックに乗り込まず、飼い主などを手こずらせる牛もいました。おとなしく牧場を後にしました。

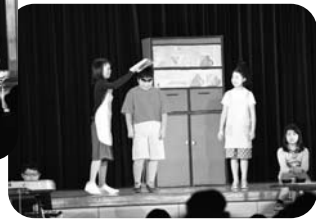


子どもたちが舞台で熱演

訓子府小学校の学芸会が10月30日、居武士小学校は開校100周年記念学芸会として11月6日にそれぞれ開かれました。児童は、劇や合唱、器楽演奏など、練習の成果を存分に発揮し、訪れた父母などから大きな拍手を受けていました。



訓子府小学校



居武士小学校



わくわく園「発表会」

元気よくがんばりました

わくわく園の3〜5歳児の「発表会」が11月19日にわくわく園で開かれました。開園してから初めての発表会で、劇や器楽さらに遊戯を子どもたちが元気よく披露しました。発表会に訪れた、父母やおじいちゃん、おばあちゃん、がんばっている姿を見守っていました。



KAPPA(カッパ)マスターズ開催



約180人が記録に挑戦し力泳

第22回KAPPA(カッパ)マスターズ水泳大会が、11月6日に町温水プール「KAPPA」で開催されました。訓子府町内をはじめ、近隣の北見市や網走市、遠く釧路市など道内各地から約180人が参加しました。競技は、年齢別の個人種目のほか、男女混合の自由形リレーなどの団体種目で行われました。各種目いずれも、参加者は水しぶきを上げながら力強く泳ぎ、自己の記録に挑戦しました。また、プールサイドでは競技仲間などが大きな声援を送っていました。